



\*DCは、Defined Contribution (確定拠出年金)の略です。

発行：損保ジャパンDC証券

## 【「2007年度 DC制度運営交流会」開催ご報告】

### 〈開催概要〉

当社は、「2007年度 DC制度運営交流会」を2007年11月22日、野村コンファレンスプラザ(東京都新宿区)にて開催いたしました。

本交流会は、当社を運営管理機関としてご利用いただいているDC制度導入企業様同士の交流の場として、また情報交換の場として、より実践的な制度運営に役立つように企画・開催したもので、今年度で2回目の開催となります。

この場を借りまして、ご参加をいただきました企業様に御礼申し上げますとともに、今回特別に制度運営についての事例をお話いただきました株式会社ミウラ様に重ねて御礼申し上げます。

### 〈特別講演〉

株式会社ミウラ 管理本部 総務管理室 森脇 宏公 様

森脇様からは、専任講師による継続教育セミナーを毎年実施することを通じて加入者のレベルアップを図っている点を中心にお話をいただきました。

計画的にセミナーを実施し、その結果を振り返って次の打ち手を検討するという形でお取組いただいた結果として、採用する運用商品を追加した点など、具体的な内容を含めてご講演いただきました。



森脇 宏公 様



### 〈制度導入のヒント〉

当社より、お客様が取り組まれた様々な事例をご紹介いたしました。まず「できそうなこと」や当社でご用意しているサービスメニューもご説明させていただきました。

### 〈損保ジャパンDC証券からのご報告〉

最近新聞でも報道された自動移換の問題を取り上げ、現状も含めご報告いたしました。

自動移換を防止するための当社の取組をご案内するとともに、事業主の皆様にもご協力いただきたいことをご説明いたしました。

### 〈意見交換会〉

事例発表の後、少人数グループに分かれての意見交換会が行われました。加入者の意識向上や情報提供・継続教育などにつき各グループとも盛んな情報交換や質疑応答が交わされました。もう少し、意見交換の時間がほしかったという声もあるなど大変盛り上がりました。



熱気あふれる意見交換会

〈懇親会〉

本交流会終了後の懇親会は会場を移して行われ、当初出席を予定されていなかった方々含め、多数のご出席をいただきました。意見交換会につづき、ご担当同士の親睦をさらに深めていただく場として名刺交換や挨拶が交わされ、当社社員も加わって、和やかながらも盛況な雰囲気の中、幕を閉じました。



和気あいあいとした懇親会

〈参加企業様のアンケート結果から〉

交流会全体につきまして多くの皆様にご満足いただくことができました。株式会社ミウラ様のご講演や「制度運営のヒント」を参考にして、各社の取組にお役立ていただけたことと思います。また「意見交換会」のアンケート結果(図1)は、今年度も“大変参考になった” “参考になった” の項目で100%を占めました。次回の参加についても(図2)多くの方から「是非参加したい」という回答をいただき、条件付を合わせると全員の方から、前向きなご感想を頂戴することができました。

最後に、この場を借りて、ご参加を賜りました皆様に深く御礼申し上げます。中には遠方よりご足労をいただいた方もいらっしゃり、弊社一同大変嬉しく、ありがたく思っております。おかげさまで、大盛況のうちに終了させていただくことができました。

次回の交流会にも是非ご参加下さい。お待ちしております。

■参加企業様 アンケート結果(抜粋)

図1：意見交換会について

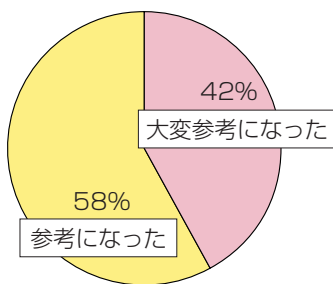
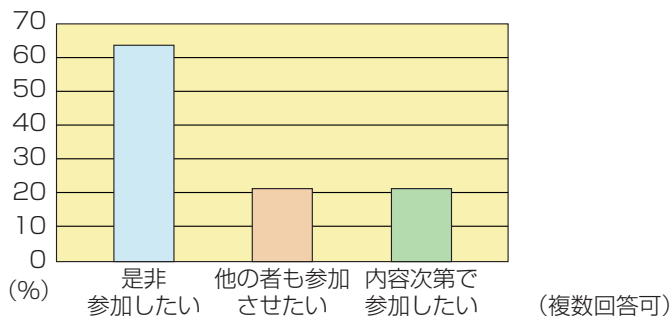


図2：次回の参加について



**【DC制度運営交流会プログラム】**

- 損保ジャパンDC証券からのご報告  
「自動移換を防止するために」
- 「DC制度 取り組み状況とその成果について」  
株式会社 ミウラ  
管理本部 総務人事管理室 森脇 宏公 様
- 「制度導入のヒント」
- 意見交換会
- 懇親会(自由参加)

主催:損保ジャパンDC証券株式会社  
日時:2007年11月22日 13時~17時  
場所:野村コンファレンスプラザ  
(東京都新宿野村ビル48F)

## 【2008年 社長新年ごあいさつ】

### 新年進歩

新年明けましておめでとうございます。  
皆様には輝かしい新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。



当社運営管理業務につきましては、いつも格別のご高配を賜り、衷心より厚くお礼申し上げます。

2007年は“少子長寿化”の急速な進展という社会構造変化の中で、とりわけ年金問題が前面に取り上げられ、公的年金制度問題とからめた企業年金制度のあり方についても真剣な議論と見直しが進められた年であったように思われます。このような背景のなかで、2001年10月に発足しました確定拠出年金制度も満6年を経過し、導入企業数で9,567社（2007年11月末現在）、企業型加入者数で2,624千人（2007年10月末現在）と、順調に新時代の年金制度としての役割を高め、2011年度の適格年金制度廃止スケジュールとあいまって、今後ますますの機能発揮が期待されております。

当社といたしましても、この年金制度変革の大きなうねりの中で、確定拠出年金運営管理機関として社会的役割の一端を担えますことは、まことに名誉であり、より良いサービスのご提供に向け、社員一同、気持ちを新たに致しております。

おかげさまで当社は引き続き企業型年金規約承認数ベースで12%のマーケットシェアを確保すると共に、まだまだ至りませんが、運営管理機関サービス比較調査ではトップクラスのご評価をいただいております。

これもひとえに、皆様方の温かいご支援ご指導の賜物と重ねて御礼申し上げます。

記録関連から投資教育、継続教育まで一貫したサービスをご提供する運営管理機関として、お客様の声に常に耳を澄まし、事業主様、加入者様のご満足をいただけるサービスのご提供に向け、進化し続けることを目指して、社員一丸となって努力してまいります。

皆様方のご繁栄を心からお祈り申し上げますと共に、本年も宜しくご指導、ご高配のほど、心からお願い申し上げます。

2008年1月  
損保ジャパンDC証券株式会社  
取締役社長 長島忠男